

6. 北陸（地域別調査機関：一般財団法人北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連		-	-
(北陸)		一般小売店〔精肉〕 (店長)	・街中への集客が戻りつつある。この調子でいけば2～3か月後には来客数が増えて、景気が良くなると期待している。
		一般小売店〔事務用品〕 (店員)	・年度末に向けて、官公庁の高額物品調達が本格的となるので売上増を見込める。
		一般小売店〔鮮魚〕 (役員)	・新幹線の特別運行が、1本だけだったが、もちろん満席だったそうだが、このニュース以来、観光客が一段と増えたようである。東北地方からの旅行者の増加を見込んでいる。
		一般小売店〔書籍〕 (従業員)	・年明けから各メーカーの新製品の発売が、多数控えている。販売増が期待できる。
		百貨店(売場主任)	・今冬の天候及び気温は、平年並みとの長期予報が発表された。昨年の暖冬の反動で、冬物衣料や雑貨の購買モチベーションが上がることを期待している。
		百貨店(営業担当)	・ボーナス月であることや、クリスマスや年末年始などイベントが多く、多少は景気回復を期待できる。
		乗用車販売店(経営者)	・例年のこれからの時期は、年明けからの販売量が増えてくるのでやや良くなる。
		乗用車販売店(役員)	・新型車種のラインナップが出そうなので、受注、登録ともに計画どおりに推移するものと見込んでいる。
		タクシー運転手	・毎年、11月後半から12月初めにかけて観光の仕事はあまりないが、少し入っていることから期待が持てる。
		タクシー運転手	・これから、いろいろな会合などでお酒を飲む機会や外出が増えてくることから、利用客が増えることを期待できる。
		商店街(代表者)	・これといった流行もなく、購買意欲をあおるような雰囲気もない。
		商店街(代表者)	・催事があれば客の反応はあるが、その反動が起こるので実施は難しい。
		商店街(代表者)	・商店街の多くを占める衣料店は、冬物衣料の売上に頼ることが多い。飲食関係は、例年と比べ変化はない。そのため、衣料の動向次第で商店街全体の景気が変わる。百貨店も衣料関係は苦戦している。飲食関係で何とかにぎわいが出ている状況である。
		スーパー(店長)	・現状をみても、2～3か月先は環境が変わらない。特に景気が上向くことも下向くこともないとみている。
		スーパー(総務担当)	・冬のボーナス支給額が前年並みと言われている中で、12月以降も景気が良くなるとは考えられない。
		スーパー(総務担当)	・新幹線開業効果は継続しているものの、現状より良くなるとは考えられない。
		スーパー(店舗管理)	・生鮮品の価格高騰は落ち着くとみられるが、その時点で購買意欲が増加するとは考えられない。現状は単価増による売上構成であるため、今後は客単価の減少により売上が厳しくなる。
		コンビニ(経営者)	・季節指数による売上の減少は当然覚悟しているが、前年同月比で大きな変化があるとは考えていない。
		コンビニ(経営者)	・近くの新幹線工事現場の人たちが出入りしているが、この工事はしばらくは続くようで、特需となっている。
		コンビニ(店舗管理)	・好材料が見当たらない。暖冬になることを祈るばかりである。
	衣料品専門店(経営者)	・最近、自分から景気のことを口にする人が減っているようである。景気の動向を調べる際に、こちらから相当水を向けなければいけないくらいである。	
	家電量販店(店長)	・暖房器具の売行きが悪い。暖冬である上、一人暮らしの人が年々減ってきている。	
	家電量販店(本部)	・外部環境や景気などであまり変化がない。	
	乗用車販売店(従業員)	・雪のシーズンは客足が悪くなるため、あまり期待できない。	
	自動車備品販売店(役員)	・高額商品の動きが悪く、単価は前年を下回る状況が続いている。回復の兆しが見えない。車販売では、一部の車種が好調だが全体では伸び悩んでおり、新車販売の不調が用品の動きに大きく影響している。整備、メンテナンスについても極力出費を抑えようという傾向がみられる。	
	住関連専門店(役員)	・繁忙期に入り売上回復を見込んでいたが、実績は昨年並みである。来客数に大きな変化はみられない。	
	その他専門店〔酒〕 (経営者)	・何年も最悪の状態が続いている状況で、この先景気が良くなるとはとても思えない。よく商売が続いていると感心するくらいである。	
	その他小売〔ショッピングセンター〕	・日々の食料品中心の購買行動となっている。衣料や住まいの品の動きは、鈍い状態が続いている。	

その他小売 [ ショッピングセンター ] ( 統括 )	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昨年の同時期は暖冬であったため、衣料品、スキー用品といった季節商材が苦戦していた。その反動によって前年からの売上げが見込まれる。しかし、シネマの集客が落ち着いてきたことと、前年のシネマのヒット作が出た時期と重なってくるため、来客数の減少が見込まれる。そのため、トータルとしては前年並みとみている。</li> </ul>
高級レストラン ( スタッフ )	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 例年の12月前半は、昼に県外の団体旅行があるが、今年は散々の予約状況である。夜の忘年会予約は例年並みで受注している。</li> </ul>
一般レストラン ( 店長 )	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 12月以降の予約状態からみると、あまり期待できない。</li> </ul>
一般レストラン ( 統括 )	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ これ以上の円安が進むと、各食材などで仕入れ価格が高騰し利益圧迫となりかねない。売価への転嫁を考えなければならないが、まだその動きは当社を含めて周りにもみられない。</li> </ul>
スナック ( 経営者 )	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国内外の状況の変化により先行きが不透明である。様子を見る経営者が多く笑顔はみられない。良いなりに、このぎりぎりの状況が続くと考える。</li> </ul>
観光型旅館 ( スタッフ )	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予約仕入が前年比66%で回復していない。予約保有の前年比で11月は94%、12月が82%、1月が75%で推移している。</li> </ul>
都市型ホテル ( スタッフ )	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 冬場は宿泊部門の売上が弱い時期であり、天候による要素が大きい。おせち料理の受注状況が昨年よりやや良いので期待しているが、最後まで楽観視はできない。</li> </ul>
都市型ホテル ( 役員 )	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 宿泊部門は年末年始と団体での予約状況が悪く、今後は厳しい状況にある。宴会部門とレストラン部門は、ともに例年の予約状況であり、全館では変わらない。</li> </ul>
旅行代理店 ( 所長 )	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年末や年始を控えて取扱額の低い月ではあるが、特に変わる要因はみられない。</li> </ul>
通信会社 ( 職員 )	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新サービスの契約数がほぼ順調であるものの、波を感じるほどではない。</li> </ul>
通信会社 ( 店舗統括 )	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学生需要が増える見込みだが、例年以上になるとは期待できない。</li> </ul>
通信会社 ( 営業担当 )	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新型機種予約が落ち着き、販売量の増減がみられず変化はない。ボーナス商戦に期待している。</li> </ul>
通信会社 ( 営業担当 )	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 機種購入需要より修理やプラン見直しと、現状のままで機種継続利用を検討する客が多い。</li> </ul>
通信会社 ( 役員 )	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年末を控えて例年、契約数に大きな変化が見られない時期である。今年も昨年とほぼ同様の傾向にある。</li> </ul>
競輪場 ( 職員 )	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 売上が減少傾向にあり、今後、上向き要因が見当たらない。</li> </ul>
その他レジャー施設 ( 総支配人 )	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ リニューアル効果によって、引き続き販促を強化していく考えである。</li> </ul>
住宅販売会社 ( 従業員 )	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ローン金利や地価が最も有利な現状において、これ以上の条件がよくなる要因がない。</li> </ul>
住宅販売会社 ( 従業員 )	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 税制改革もなく住宅ローンの金利も低いままだが、需要がないためか実際の動きに反映してこない。</li> </ul>
住宅販売会社 ( 従業員 )	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 他社が行っている、年末に向けてのイベントやセールを見ても安価な物件が多く、中～高級層の需要を掘り起こす内容は、ほとんど見当たらない。今後も安価を求める需要に向けて商品販売に注力しなければならないと考えている。</li> </ul>
住宅販売会社 ( 従業員 )	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 常設展示場の来場者は、一部の地域で偏りもあるが、全体では安定した推移を示している。新規来場者数も順調に情報量は確保できており、耐震対応を含めた営業展開は十分に期待できる。しかし、景気の先行き不安もあって、客の動きは慎重である。商談時間が長くなることは必至であり、契約件数が伸びないのではと懸念している。</li> </ul>
コンビニ ( 店長 )	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ キャラクターくじや雑貨といった、食料品や生活必需品以外の口座の売上が悪い。これから年末にかけての懸念材料となっている。たばこや缶コーヒーを始め、昼食などの生活に密接なものの売上はあまり変わらない。無駄なものは買わないといった購買行動が感じられる。単価の高いデザートや飲料は、例年とは違いあまり売れていない。高い商品は買い控えされており、景気は下向きである。</li> </ul>
衣料品専門店 ( 経営者 )	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 衣料品の売上は回復のめどがたたず、季節要因もあるとは思いますが、低落傾向から脱する確信が持てない。</li> </ul>
観光型旅館 ( 経営者 )	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 北陸新幹線開業効果が薄れて、週末の予約は順調なものの、平日の予約数は伸び悩んでいる。</li> </ul>
通信会社 ( 役員 )	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 例年1～2月は閑散期であり、今年も同様に落ち込むとみている。</li> </ul>

	テーマパーク（役員）	・先行の予約状況を見ると、前年同期比で2～3か月先の予約状況はやや悪い水準にある。中でも団体客の予約状況が鈍く、悪くなっている。また、個人客も最近の利用状況はやや悪くなっている傾向である。全体としてはやや悪い方向に動くのではないかとみている。	
	美容室（経営者）	・現在の国際情勢に不安を感じている人が多い。	
	x	-	
企業 動向 関連	-	-	
(北陸)	繊維工業（経営者）	・為替の安定によって輸出に期待したい。	
	プラスチック製品製造業（企画担当）	・新設住宅や非住宅の建設が堅調に推移しており、主力の建材事業に期待が持てる。	
	金属製品製造業（経営者）	・2～3か月先の受注の入り具合をみて、やや良くなると判断している。	
	一般機械器具製造業（総務担当）	・円安は輸出企業には追い風であり、また、国内市場は補助金の申請などで受注が期待できる。	
	一般機械器具製造業（経理担当）	・現状の為替水準で推移すれば、引き続き輸出向けに堅調な受注が期待できると考えている。一方で、人手不足がさらに浮き彫りになってきており、急速な受注増から材料手配にも影響が出始めている。今後の生産がどこまで維持できるかが、結果を残せるかどうかの鍵になってきている。	
	精密機械器具製造業（役員）	・新商品の拡充もあり、春先に向けて生産量は増える計画となっている。ここしばらくは、為替や株値の動きの期待感もあり、売上は上向いていくものと考えている。	
	税理士（所長）	・毎月、各社の社長を訪問して話を聞いているが、今は仕事が少ないが12月以降、特に年明け以降は、しっかり見通しがあるという回答である。今後は良くなるのではないかと期待を、多くの社長が持っている。一つ気になるのは、飲食店関係の社長に聞くと、1人あたりの客単価が下がっているということである。飲食店がデフレ傾向にあるのではないかとこの話は気になるが、とりあえず見通しは明るいということで、やや良くなると考える。	
	食料品製造業（経営企画）	・何らかの追い風が吹くなど、特別な外部環境の変化でもない限り、良くなる理由が見当たらない。	
	繊維工業（経営者）	・国内の消費や輸出の回復などに期待しているが、受注増に結び付くには、まだ時間がかかりそうである。	
	建設業（役員）	・当地域では、一部に安値受注が拡大傾向にある。今後さらに、受注価格競争は厳しさが増すと見込まれる。	
	金融業（融資担当）	・当面は目立った建設工事がなく、現状維持がやっとなである。株式市場が上昇しているものの、足元は弱い。	
	金融業（融資担当）	・米国の大統領選後の円安と株高の状況が継続するかという点と、さらに、輸出企業や納入業者の業績にどう影響するかが見通せないため、どちらともいえない。	
	新聞販売店〔広告〕（従業員）	・住宅や不動産関連のチラシ出稿が、依然として鈍い。この業種で少しは動かないと、景気回復の兆しが見えない。	
	司法書士	・再開発事業の進展はみられるが、一方で、新幹線の用地買収後に代替地を探さずに、事業を閉鎖する事業者も多い。	
	建設業（経営者）	・例年に比べて、年明けの1～2月の民間工事の手持ち量が少なく、先行きを懸念している。	
	輸送業（配車担当）	・乗務員の高齢化が進む。新規採用を図るが、重労働であるため採用が進まない。この状況は恒常的に続く。	
	通信業（営業担当）	・事業所向け情報機器の動きが、下期に入って陰りが見えてきた。今まではセキュリティ商材を中心に好調だったが、設備投資を抑える企業が多くなってきた。	
	不動産業（経営者）	・法人客の情報も少なく、個人客の情報もかなり少ない状態である。同業者からも、この先は情報がなかなか出てこないのではないかと話している。	
		x	-
	雇用 関連	-	-
(北陸)	人材派遣会社（役員）	・有期間の欠員や休暇者のための要員の需要が多く、マッチングが難しい。	
	人材派遣会社（社員）	・この先の3か月間は例年並みと見込んでいる。	
	求人情報誌製作会社（編集者）	・大量に雇用する動きが出てこない。	
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・正社員の実数が大きく伸びているという統計にもあるように、労働者の収入自体は伸びている。一方で、社会情勢の不安から、なかなか人員増に踏み込めないという広告主の話も聞く。良い面も悪い面もある状況なので、全体としては大きく変わらないのではないかと考える。	
	職業安定所（職員）	・新規求人倍率が、7か月ぶりに前年同月比で減少となった。	

	職業安定所（職員）	・新規求人数が、ここ数か月は4,000人前後で推移しており、しばらくこの状態は続くと考える。
	職業安定所（職員）	・今は安定している事業所であっても、下請企業にとっては先月まで続いた円高のダメージの蓄積により、先行きを不安視している。
	民間職業紹介機関（経営者）	・早々に雇用増加につながるような明るい材料が見当たらない。
	学校 [ 大学 ]（就職担当）	・就職内定者が出た企業やそれ以外の企業でも、今年度のお礼の際に、次年度の求人案内や冬季インターンシップの案内を持って来る。そのような企業が前年度より増えた。製造業の求人意欲は衰えていないとみている。
	-	-
x	-	-